



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

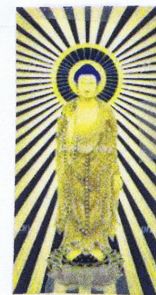
掲示板法話

「ともに是、凡夫」と闇を知り 共に生かされる世界が開かれる

令和の時代が始まって三か月。「う
るわしく平和に生きる」願いととも
始まったこの時代にも悲劇の事故や
事件が絶えません。

川崎市登戸駅前でスクールバスを
待つ学生や保護者たちが殺傷された
事件や元エリート官僚が暴力の絶え
ない息子を殺害した悲劇など、痛まし
い限りです。

事件の背景は様々ですが、その根っ
こにはいずれも「怒り、腹立ち」や「そ
ねみ、ねたみ」の感情が渦巻いていた
ことは想像に難くありません。自分の
生い立ちや境遇を嘆くあまり、「死に
たい」「殺すしかない」と凶行に及ん
だのは、真つ暗闇の地獄の世界です。
人間界は「言葉が必要とする世界」
であり、地獄とは「言葉の通じない世
界」、浄土は「言葉を超える世界」で
す(曾我量深師)。暴力を振るう息子
に対して、「殺さなければ、殺される」
と言葉で説得することができずに、刃
物を向けることしかできなかった父
親もまた、人間の世界から地獄の世界
に陥ってしまったのでしょうか。



嘘、偽りの言葉や建前ばかりのお上
手を言っても自暴自棄になり、頑なに
心の扉を閉ざす子には通じません。

息子を闇の世界から救い出すには、
「君をここまで追い詰めたのは父や
母が悪かったのだ。ごめんなさい」と
いう、唯慚愧の言葉と涙しかなかった
のではないのでしょうか?

奈良少年刑務所の詩集(寮美千子編)
に罪を犯した少年の「ごめんなさい」
という詩があります。

「あなたを裏切って 泣かせてしま
ったのに あなたは僕に謝った アク
リル板ごしに ごめんねと 悪いのは
この僕なのに あの日の泣き顔が忘れ
られない ごめんなさい かあさん」。

少年は母の「ごめんね」という謝罪
の姿に、自分の犯した罪の深さを知り
「ごめんなさい、母さん」と人間の言
葉を取り戻すことができました。母の
涙は、「無条件の謝罪」と言うことが
できるでしょう。

「闇は 光を知らねども
光は闇に入りたまう
そのみ光の み仏を
南無阿弥陀仏とよびまつる」

(木村無相さん)
悲しい事件から、自覚なきままに人
を傷つけ追い込んでいるかもしれない
いわが闇の姿を思い知らされます。
「ともに是、凡夫のみ」(聖徳太子)
と闇を知らされ、無条件の喚び声に遇
つてこそ、謝り合い、共に生かされる
世界が開かれるのです。



☆ 写真アラカルト ☆

小杉町民挙げて『令和奉祝記念パレード』 2019. 5-12



老若男女が提灯と日の丸小旗持ち、祝賀ムード満点



5時の鐘撞き皆で一緒に

孫も大喜び「ヤッホー」

☆行事ご案内☆

門信徒会例会:7月21日(日)夜7時半

- ①長寿社会を生きる覚悟; 老病死の苦悩を超えて生かされる
- ②盂蘭盆会について、③夏の巡回日程とお願いについて

◇絵手紙教室7月9日(火)10時、45回目川崎光子先生
参加費500円、いつからでも始められます。

◇お寺で歌声喫茶6月20日(木)1時、6回目童謡・懐メロ
皆で一緒に歌います。茶話会ありお気軽にご参加下さい

◇名古屋別院音楽祭7月8日(月)午後三重組コーラス、
11時40分小杉発

◇三重組十三日講 7月3日午前・午後大井手浄蓮寺様
講師谷川弘頭師(兵庫)

◇募集:来年4月18日(土)1時『初参式』赤ちゃんや幼児大募集
三全仏婦主催、会費千円、写真冊子付、仏前で地域の人々と
子供の健やかな成長と誕生を祝福。30年以上続く伝統行事

◇キッズサンガ7月6日(土)4時、子供に心の教育!合掌でき
る子を育てよう。5時の鐘撞きは年中無休、ご褒美あり

◇一緑会テレホン法話TEL059-354-1454で3分間の法話
6/24~30善正寺住職。三重組5か寺が週替りで担当

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索。過去1年分の
寺報閲覧、毎日更新ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』好評
10年11か月で29万5千訪問、コメントやお悩み相談大歓迎

◇新納骨堂:後継者の無い方、お墓でお困りの方、ご相談下さい。

◇法事場所でお困りの方:寺にご相談下さい。本堂使用可。

坊守スケッチ

心の貯金をしよう



突然ですが、人生百年時代あなたは老後に備えて貯金をしていますか？ お金は使えばなくなりますが、筋肉の貯金は、使えば使うほど貯まります。【線路は続くよどこまでも】の替え歌で『筋肉貯金』の歌をご存知ですか？♪皆で伸ばそう健康寿命 使えば無くなるお金の貯金 使って貯めよう筋肉貯金 老後に備えて貯金と貯筋♪朝の散歩でこれを歌いながら歩くと、健康寿命が延びること間違いなしです。しかし体が健康でも、心に満足感が無ければ、幸せとは限りません。私達はどんな些細なことでも、他人のお役に立ち、喜んでもらうことができたら満足を感じるものです。これを『心の貯金』と名付けた人がいます。いずれ誰かのお世話になる身ならば、今の健康なうちに、誰かの為にちよっと心の貯金をしてみませんか？決してお金儲けにはつながりませんが、心の貯金をし終わった後には、お金では買えない清々しい心の貯金ができます。これは誰からも奪われることもなく、税金も掛かりません。心の貯金は、あなたの勇氣と心がけ一つで始められるものです。

では心の貯金とはどうすれば、できるのかを一緒に考えてみましょう。

昭和の時代には、地域社会の絆や家族間の会話も密で、近くに困った人が

いたら、必ず誰かがお世話をしていました。平成になって核家族から単身家族へと移り、近所や親戚の付き合いが疎遠で、それぞれが孤立して閉鎖的になりました。またスマホの普及で、コミュニケーションが苦手な人が多くなりました。個人主義が優先して、困った人がいても見て見ぬ振り。他人のお世話をする人も少なくなりました。厳しい競争と格差社会、そこから漏れた負け組と呼ばれる人が生き辛くなって、昨今の悲惨な事件へと発展しました。とりあえず私達は、困った人がいれば、関係ないと無視するのではなく、勇氣を出して一声かけてみましょう。『他人と関わる幸せ！』、それがあなたの心の貯金になるのです。

☆一縁会テレホン法話。6/24(月)より6/30(日)まで善正寺住職担当。週替りで三重組5か寺の住職・坊守・若院の法話が流れます。059・354・1454へお電話下さい。

寄稿



睡蓮や汚泥の化生華と咲く 釋清風
運動会テント村にて昼餉かな
蝶ひとつ森の泉に風薫る
傘の花開き波打つ梅雨入りかな
老鶯や朝一番の散歩道

☆若院夫婦の『青自な日記』55

今年も小学校の運動会が、5月25日無事に終わりました。昨年以上に暑い一日で、児童席にはテントが張られ、プログラムは短縮や変更がありました。

二年生の長男は、毎晩自宅ダブレットから流れる星野源の歌(NHK朝ドラ『半分青い』主題歌「アイデア」)に合わせて、ダンスを熱心に練習しました。おかげで長女や私までもが振りを覚えてしまう始末。本番もばっちり出来栄え！応援に来て下さった長男の水泳コーチのHさんにもベタ褒めしてもらい、長男は嬉しそうでした。当日、私にはPTA広報部の仕事がありました。主に五年生の出場種目の撮影をしたのですが、グラウンドのきつい照り返しの中で子どもたちを追いかけ、しゃがんで中腰の撮影は、なかなか大変でした。

特に、組体操は運動会最大の目玉種目であり、保護者の撮影のお邪魔にならないよう、また最高の瞬間を逃さないよう必死でした。年三回発行の小学校の広報紙に撮影した写真が採用されるので、今は出来上がりを楽しみにしています。親子ともども汗をかきかき、頑張った運動会でした。(若坊守)



ホットニュース

☆庫裏食堂にエアコン設置。絵手紙教室や歌声喫茶等、食堂に集う機会が増え、快適にお過ごし頂けるように工夫。皆さんも一度遊びにお越し下さい。

また境内共同トイレ(男性用)をリニューアル。女性専用が増えました。

☆お寺で『歌声喫茶』6回目は6月20日(木)午後1時より庫裏食堂で。不定期ですが毎月1回開催。三味線やマンドリン、ギター伴奏で、童謡、懐メロ等リクエストに応じて皆で歌います。誰でもお気軽にご参加下さい。

平成31年度・善正寺主な行事案内

☆五箇盆会法要 8月15日朝8時半

☆秋季永代経 (8月17日・18日) 両日共午後、尼崎市 足利孝之先生

☆小杉町仏教会追悼法要 9月22日(日) 午前10時・午後1時・相愛大学教授・NHK『シブ5時お悩み相談』出演中の釈徹宗先生(初)

☆報恩講 11月2日(土) 午前と夜3日(日) 午前のみ。但し2日11時より正午お非時接待あります。(講師) 京都るんびに園理事長・藤大慶先生

☆秋勧進 11月23日午前8時

☆お内仏報恩講 12/7午前10時半

※毎月第3日曜日の夜7時半は例会

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」307号をお届けします。◇今年も暑さ厳しい夏が到来。水にも電力(エアコン)にもお世話になり、多くのお陰に感謝しつつ、日々心豊かに生き抜きましょう。合掌。

令和になって背筋の凍る事件や事故が連日報道されます。その中でも心和む二つの話題を紹介します。認知症の介護施設へ勤める女性が、入居予定者の中に小一の時担任だった先生と同じ名前を見つけました。女性は小一の時お漏らしをして先生に着換えさせてもらいました。それ以来先生の優しさや笑顔を忘れませんでした。入居当日「先生」と声をかけると「ハイ」とチャキとした返事。思わず先生に抱きついて再会を喜び合いました。これから温かい言葉と笑顔でお世話したいと語っています。一方別の話題は、自宅で認知症の母を介護している娘さんのお話です。家の中に母の姿が無いので慌てて探してみると、母は庭で草むしり。娘は母の介護と家事に忙しく、庭の草が伸び放題。思わず母に「ありがとう」と言う。「いいのよ」と言ったまま手を休めません。母がしっかりしていた頃、二人で一緒に草むしりをした思い出が蘇り、涙が溢れました。母の認知症が進み、家事もできなくなり、娘の名前すら忘れがちな母に、いつもイライラし通して、認知症介護は失われる機能ばかりに目が向きがちですが、またまた出来ることはある筈です。母への草むしりの「ありがとう」がお礼を言われた本人だけではなく、介護者自身の心も満たしてくれそうです。老いの道はいすれ誰もが辿る道です。介護は親との別れの準備期間。私の一歩先を行くお手本と思えて「ありがとう」の言葉を忘れずに接したいものです。

合掌

善正寺坊守 拝

令和元年 七月